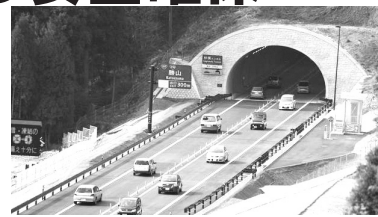


# 一般質問

乾 章俊 議員

## ● 冬期間の中部縦貫自動車道の安全確保 ● 教育について

### —清掃・挨拶・靴の揃え—



中部縦貫自動車道(鹿谷町)

そのほかの質問

- ・観光振興について
- ・白山ユネスコエコパークと平泉寺整備について

**問** 毎朝、多くの方が通勤に利用されています。またスキーヤーも多く訪れる。中部縦貫自動車道はこれまで位置が16号に比べて位置が高くなり、山側で日照時間なども凍結が心配されるなど、とても危険な状態になると危惧する。冬期の安心、安全対策が十分進められているか伺う。

**答** 国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所が定めた雪害対策計画では、除雪作業の出動基準は、山地部は降雪があり積雪のおそれがある時、平地部は新積雪5センチ程度となった時としている。凍結防止作業の出動基準は、気温が低下し路面凍結のおそれがある時、又はすでに凍結が発生している時としている。11月に福井河川国道事務所も参加する勝山市雪害対策会議を開催している。今後さらに連携を深め、市民生活にかかすことができない冬期間の交通路の安全確保に努めていく。

**問** 国際社会の中で日本人の勤勉さ、礼儀正しさ等が高く評価されている。これを生かすために、外国語習得と豊かな人間性、素養が身につけていくことがとても重要となる。

**答** 全ての小・中学校で「黙働清掃」を実施している。おしゃべりせず、集中して清掃活動に取り組むことで、自分の心を磨こうというねらいがある。

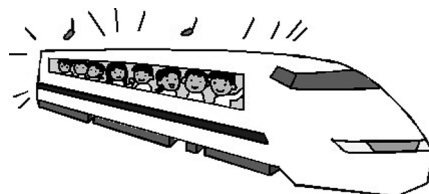
挨拶については、全ての小・中学校で挨拶を重視した取り組みを行っている。例えば、勝山南部中学校とその校区の小学校では挨拶週間を定め、保護者も一緒になって挨拶運動を展開している。

靴の揃えについては、小笠原礼法に基づく「くらしの礼儀作法」を活用しながら、脱いだ履物は手でかかとを揃えて置くように指導している。

# 一般質問

松村 治門 議員

## ● 花月楼の再生について



そのほかの質問

- ・勝山市の人口ビジョンについて
- ・公共施設の総合管理について
- ・DINO—A—LIVEのまちなか誘客に対する効果について

**問** ①花月楼の再生に関して建物をも市所有物にする意思はあるのか。②建物が素晴らしいので地元の料理を出せば観光客が来るといふストーリーでは再生はおぼつかない。花月楼のリニューアルがまちなか誘客を促進し長期的利益を生み出すというストーリー・戦略はあるのか。

**答** ①このたび商工会議所を中心にして策定された「勝山まちなか観光戦略」に位置付けられている。「(仮称)観光まちづくり会社」が所有も含め、花月楼の整備及び運営を行うことを想定している。

②「(仮称)観光まちづくり会社」が財政基盤等を整備し、勝山市の観光を一元的に行う体制を確立した上で、花月楼の整備運営を担っていくことを期待している。

ジオパークに魅力を感じ、休日を中心に訪れる親子連れのニーズに対応するストーリーをまちなかで提供する。DINO—A—LIVEはそういった事業の一つであったと考える。そういったことで市外に逃している観光客をしっかりとてなしていきたい。また食事場所の提供等もしていきたい。今回、デスティネーションキャンペーンでJR東日本等から評価の高かった平泉寺への誘客を図ることで、恐竜と並ぶ勝山市の歴史、自然、産業、伝統、文化に魅力を感じるシニア層をターゲットとし平日を中心にまちなかで、もてなしをしていくことが重要と考える。このような観点から、市としても「食と文化の拠点」として花月楼の再生を位置付け、「(仮称)観光まちづくり会社」を計画している商工会議所を支援していくのは、日本版DMOの考え方と一致すると考える。